

# 酒津浄水場水安全計画

(概要版)



備南水道企業団

## 備南水道企業団とは

備南水道企業団は井戸を水源として、市民の皆様へ直接水をお届けしているのではなく、倉敷市及び早島町に対して浄水をお届けする『水道用水供給事業』（水の卸売業）を行っています。

## より安全でよりおいしい水の供給を目指して！

当企業団では、安全でおいしい水の供給を目指して、浄水場から供給地点（配水池）までの各段階において、水道施設の改良・更新・維持管理を行い、水質管理には万全を期してきました。近年、水道水に対するニーズが高まってきていることもあり、さらなる強化を行うため、「酒津浄水場水安全計画」を策定し、より安全でおいしい水の供給を目指します。

水安全計画により

さらなる安全性の向上を図ります

### 酒津浄水場水安全計画

- ・危害(リスク)の抽出と分析
- ・危害(リスク)の管理
- ・継続的な改善の実施



### 今までの水質管理の取り組み

～浄水場～

【酒津浄水場】

24時間体制で監視しながら浄水処理を行っています。

～供給地点～

【配水池】

カメラで、不法侵入者がいないか監視しています。  
残留塩素、濁度、色度を連続監視して安全な水を倉敷市、早島町に受け渡します。

～水質検査～

【原水及び浄水】

倉敷市水道局水質試験センターに委託して有害物質が含まれていないか検査を行います。

# 水安全計画とは？

食品衛生管理の手法である HACCP\*<sup>1</sup> の考え方を水道システムに取り入れることで、安全でかつおいしく飲める、品質の高い水道水をお客様へ提供していくシステムです。

## 水安全計画の主要要素

### 危害(リスク)の抽出と分析

水源から配水池までの情報収集を行い、自然災害や事故等で想定される危害を抽出し、その影響を分析します。

### 危害(リスク)の管理と措置

危害が実際のものとなったときに、影響を軽減するための対応方法を設定し運転管理マニュアルを作成します。

【水源】



【配水池】



### 継続的な改善の実施

定期的に対応内容の確認と計画の改定をおこない、継続的な改善で水道水の安全性をより高めま

【管理室】



危害(リスク)とは

損害又は損失が発生すること、またはその恐れがあることをいいます。

例1 大雨等の自然災害で河川が濁り、水道水に影響を与える恐れがあること。

例2 滅菌設備の故障で残留塩素濃度が低下し、利用者に健康に被害を及ぼす恐れがあること。

※1 HACCP:Hazard Analysis Critical Control Point(危害分析・重要管理点)の略。

食品原料の入荷から製品の出荷までのあらゆる工程においてあらかじめ危害を予測し、その危害を管理できる重要管理点で継続的に監視することで、食中毒などを起こすおそれがある不良品の出荷を未然に防止する衛生管理手法

## 水安全計画により様々な効果があります！

### ☆安全性の向上

水源から配水池までの間に存在する危害を把握し、必要な対応をとることで、リスクを軽減し安全性の向上を図ることができます。

### ☆維持管理の向上と効率化

危害分析を行うことで、危害の原因事象が明確になり、維持管理の向上と効率化を図ることができます。

### ☆技術力の向上

水質管理、施設管理、運転制御等に関する技術的な事柄や危害発生時の対応方法をマニュアル化することで職員の技術力の向上と継承を行うことができます。



お問い合わせ先  
備南水道企業団 浄水係  
(酒津浄水場)

〒710-0801 倉敷市酒津2237-1

TEL 086-422-0306

FAX 086-423-0082

Eメール [bsk-sakazu@aurora.ocn.ne.jp](mailto:bsk-sakazu@aurora.ocn.ne.jp)